

【2015年文化の越境とジェンダー国際シンポジウム in 上海 研究発表 要旨】

現代若者の自然会話における終助詞使用の男女差
——日中使用実態比較調査より

宇佐美まゆみ

本研究は、若い世代の日本語母語話者と中国人日本語学習者の終助詞使用を男女差の観点から分析・考察するものである。現代若者の話しことばにおける男女差については、様々な観点から研究されてきたが、日本語母語話者と日本語学習者との対照研究は、まだ少ない。本研究では、従来、男女差が顕著に表われ、「女らしさ」を出すことに大きな役割を果たす要素の一つとされてきた「終助詞」の使用を、日本語母語話者と中国人学習者の実際の「会話データ」に基づいて分析した。その結果、日本語母語話者の男女の終助詞使用については、あまり違いがなかったのに対して、中国人学習者の終助詞使用における男女差は、日本語母語話者より顕著であった。中国人学習者のほうが日本語の男女差を肯定的に受け入れ、その運用志向も高いことという報告もある(谷部 2003)。今後は、これらが、中国において使用されている日本語教科書や指導のあり方の影響かどうかと、今後、どのような教育がなされるべきかについて、検討していく必要があるだろう。

(うさみ まゆみ・(現) 国立国語研究所教授/ (学会当時) 東京外国語大学教授)